

第36回函館市青少年芸術教育奨励事業 企画推進委員会

日時 令和8年4月16日(木) 午後4時30分

場所 函館市役所 5階 教育委員室

1 開会

○ 葛西主査

ただいまから、第36回函館市青少年芸術教育奨励事業企画推進委員会を開催いたします。

本日は、5名の委員のうち3名にご出席いただいておりますので、函館市青少年芸術教育奨励事業企画推進委員会規則第4条第3項に基づき、会議が成立しております。

2 企画推進委員及び事務局員の紹介

○ 葛西主査

それでは、企画推進委員の皆様をご紹介します。

函館市小学校長会の 東谷 公義 様と、
函館市PTA連合会の 平森 亜希子 様です。
函館市文化団体協議会の 菊池 守晃 様です。
函館市中学校長会の 櫛田 朝子 様と
北海道高等学校長協会道南支部の 佐紺 摂子 様
につきましては、本日所用のため欠席となっております。

次に、事務局を紹介いたします。

生涯学習部長の 土生 明弘 です。
生涯学習部次長の 岩井 丈 です。
生涯学習文化課長の 長濱 未亜 です。
生涯学習文化課の 蝦名 智美 です。

そして、生涯学習文化課主査の私、葛西 暁子 です。
どうぞ宜しくお願いいたします。

3 主催者挨拶

○ 葛西主査

主催者を代表いたしまして、生涯学習部長よりご挨拶申し上げます。

○ 土生部長

皆様、こんにちは。生涯学習部長の土生でございます。

本日はお忙しい中、

第36回函館市青少年芸術教育奨励事業の企画推進委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この事業は、函館の次代を担う青少年の心豊かな文化芸術活動の

○土生部長

一層の振興に役立ててほしいと篤志家である故加藤昇様・キヨ様ご夫妻からご寄付いただいた1億円で基金を設置し、平成3年度に創設した事業で今年で36回目を迎えます。

昨年度は、文学、美術、書、音楽の4部門で、延べ898点の応募があり、多くの児童生徒に、個性豊かな作品や、質の高い演奏を発表していただきました。

運営に携わっていただいた関係者の皆様には、このたびのご協力に対しまして、心から感謝しております。

この事業を通して、一人でも多くの子供たちに、みずみずしい感性と創造性を伸ばしていただきたいと願っております。

本日は、この後、昨年度の事業の経過とともに、第36回の実業計画案について、ご説明申し上げ、ご審議いただきたいと考えております。どうぞよろしく申し上げます。

4 (1)第35回 事業報告

○葛西主査

次に次第4、議事に移りたいと思いますが、進行を菊池委員長にお願いいたします。

○菊池委員長

それでは、議事に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

○長濱課長

はじめにお手元の資料に基づき、令和7年度、第35回の実業の報告をさせていただきます。

まず事業の経過についてです。

1ページをお開きください。昨年度につきましては、

4～5月 企画推進委員会、事業推進委員会、審査委員会を開催

6月 募集要項の送付、応募促進PR

6～9月 音楽 書 文学 美術の応募受付、審査

10月 児童生徒書・美術展の開催

2月 優秀作品集「若い芽」発行

を行ったところです。

なお、特別賞受賞者には、賞状と副賞のほか、賞品をお贈りしております。

賞品につきましては今後の活動に役立ててもらいたいと考え、ギフトカードとしており、金賞が3万円、銀賞が1万円、銅賞が5千円分をお渡ししたところです。

次に2ページは、昨年度の実業状況ですが、応募者は「文学」が419名、「美術」が230名、「書」が213名、

「音楽」が36名であり、4部門合計では898名の方にご応募いただいたところです。

つづいて、3～4ページには参考として第1回からの応募状況の推移を記載しているほか、5ページには、第1回からの金賞受賞者の一覧となっております。

議事(1)「事業報告」につきましては以上でございます。

○菊池委員長

ご質問、ご意見等があればお願いいたします。

昨年度は応募数が増えているようですね。

○長濱課長

昨年はPRに力を入れていこうということで、小学校を対象に全児童さんへチラシを配布し、事業の周知に努めました。その効果なのか、応募数は昨年よりも増える結果となったところです。

○土生部長

年々、児童・生徒数の減少に伴って、応募数も減ってきておりましたので、PRに力を入れたということでございます。

○菊池委員長

過去を見てみると、コロナや児童・生徒数の減少に伴い、応募数も減少しているが、今回は900に迫る勢いですね。
報告に関しては、みなさまよろしいでしょうか。

(異議なし)

(2)第36回 事業計画案

○菊池委員長

次に、議事(2)第36回の実業計画案についてです。

事務局から説明をお願いします。

○長濱課長

それでは第36回となる今年度の事業計画案についてご説明いたします。

6ページをお開きください。

4「事業内容」の芸術活動事業についてご説明いたします。

文学部門につきましては、優れた作品を選定し「文学部門優秀作品集」にまとめ発表、

美術部門と書部門は優れた作品を選定して「書・美術展」を開催。

音楽部門につきましては、コンクールの開催となります。

なお、音楽コンクールの受賞者につきましては、「書・美術展」の会場において、コンクール当日の演奏動画を上映し、来場された方にご覧いただきます。

○長濱課長

次に、7ページをご覧ください。

5「表彰」の最後に※印で記載しておりますが、特別賞受賞者には賞状と副賞に併せて賞品を授与します。

なお賞品につきましては昨年度と同様に、今後の活動に役立ててもらいたいと考えギフトカードとし、内容につきましては金賞が3万円、銀賞が1万円、銅賞が5千円を予定しております。

「6対象者」から9ページまでは記載のとおりでございます。

次に10ページからは募集要項（案）となっており、応募規定についての詳細などは記載のとおりでして、文学部門が10～11ページ、美術部門が12～13ページ、書部門が14～15ページ、音楽部門が16～17ページとなっております。

なお、昨年度からの大きな変更点はありませんが、

2点ほど変更した箇所があり、まず1点目につきましては、16ページの音楽コンクール募集要項のうち、

「4応募規定」の「(6)演奏時間」について、

これまで、注意事項として、※印で「時間を超過した場合は、途中で演奏は中止となります。」とだけ記載していたのですが、昨年審査委員会の中で、時間を過ぎると審査から落ちてしまうと誤解してしまうのではないかとのご意見をいただきましたので、今年度からはかっこ書きで（審査対象外とはなりません。）と追記いたしました。

続いて、2点目ですが、17ページの「10演奏動画の上映について」の項目で、書・美術展において、音楽コンクール時の演奏動画を上映する旨記載しており、昨年度までは日時と会場についてのみの記載でしたが、今年度からは上映対象者が「金銀銅賞の受賞者のみ」であることを追記し、より詳細に記載することといたしました。

次に18ページをお開きください。

こちらは事業日程の案となっております。おおむね昨年度とほぼ同じスケジュールでの開催となっております。

本日の企画推進委員会を経て、事業推進委員会、審査委員会を開催し、6月には募集開始、6～9月に各部門の応募受付および審査を行い、10月には児童生徒書・美術展の開催、2月には優秀作品集を発行することとしております。

- 長濱課長 以上でございます。
- 菊池委員長 ご質問、ご意見等があればお願いいたします。
今年もチラシでのPRは行う予定でしょうか。
- 長濱課長 はい。学校にはお手数おかけいたしますが、今年も児童・生徒全員分の配布にご協力いただければと思っております。
- 菊池委員長 応募要項等々はよろしいでしょうか。
音楽は特にレベルが高いようですね。数日前の新聞に川合快步さんがベートーベンの国際ピアノコンクールで日本一になったという記事がありました。実をいうと青芸の金賞受賞者にも名前があります。
- 長濱課長 令和2年の時に、初めて金賞を受賞しています。当時は小学校6年生でした。
- 菊池委員長 青芸が一つの目標になっている、子どもたちの励みになっているということなのではないでしょうか。
昨年か一昨年にサクソフォンで日本一になった黒川芽実さんも金賞を受賞したと思います。函館からはばたくといえますか、未来を担う演奏家が函館から出てくることを期待したいと思います。
- 長濱課長 黒川さんは、令和5年に金賞を受賞されています。当時は高校3年生でした。
- 菊池委員長 函館市は文化発祥の地でございます。
文化芸術を通じて、良いものは良い、美しいものは美しいと感じられるように、子どもたちの目や心を育てていくのは大事です。函館市はこのような機会を提供してくれていますが、このことに関し、他の市町に比べて羨ましい環境だと言われている方もおります。是非、校長会やPTAで青少年芸術教育奨励事業をPRしてください。先ほど触れましたが、高校生も頑張っている。様々な展示会がありますので、足を運んでいただければと思います。是非、応募も1000件に近づきたいですし、とにかく皆が青少年芸術教育奨励事業に関心を持っていただけたらと思う。せっきくの機会ですから、委員の皆様もPRにご協力ください。私も、函館の未来を担う若者の豊かな感性や情動を育むために、様々な場所でPRしていきたいと思っております。
他にありますか。

○東谷校長

PRのチラシを配布する際に、子どもたちに配布する様式や要項も学校で説明するのでしょうか。

○長濱課長

応募の書類も別途、学校あてに送付させていただく予定です。
企画推進委員会を経て、事業推進委員会の皆様にも確認いただき、要項が正式に決定後、学校に配布いたします。

○菊池委員長

我々企画推進委員も事業のPRに努めてまいります。
ご意見等がなければ、計画案をご承認いただいたものといたします。

(3) その他

○菊池委員長

次に議事(3)その他についてです。
皆様から何か連絡事項などございますか。

平森委員は、保護者の立場から何かありますか。

○平森委員

ございません。

○菊池委員長

今は広く皆さんに賞を与えるようになったのですが、以前は海外に行ったりしていましたよね。

○長濱課長

以前はオーストラリア等へ行った時期もありました。金賞受賞者だけだったので4名だったと思います。今は海外には参りませんが、以前よりも賞の種類を増やし、多くの参加者へ賞が行き渡るようになりました。

○菊池委員長

そうですか。これを励みにまた別の機会に向けて頑張る力をつけていく。それが函館市の文化の振興にもつながっていく可能性もありますね。

事務局から何かありますか。

○長濱課長

ございません。

6 閉 会

○葛西主査

本日の議事はすべて終了いたしました。
事務局に進行をお返しいたします。
以上をもちまして、企画推進委員会を終了いたします。
本日はどうもありがとうございました。

以上，第36回函館市青少年芸術教育奨励事業企画推進委員会会議録とする。

委員長 菊池 守晃